ANIMAL HUNTER

アニマルシールド
ANIMAL SHIELD

AIBOX Co.,Ltd
Innovating the world, deep-tech.

# 鳥獣対策ソリューション総合カタログ2026-2027

## Animal Hunter NEO-Series
(検知撃退型)

AIが視て
光と音で狙い撃つ

NEO対応子機(IBS200)

鳥獣対策は、[検知撃退]と[結界防御]の新時代へ

## Animal Shield Series
(結界防御型)

侵入させない環境を
作り続ける音響結界防御

「見えない盾で、笑顔と大地を守る。」

BioGuarrd AI
ANIMAL HUNTER

獣害を「仕方がない自然災害」から「制御可能な管理対象」へ。
AIBOXは技術で、人と自然の新しい調和を創造します。

# 社会課題：これは、対岸の火事ではない

## 年間被害額 158億円

鳥獣被害は、日本の農業と暮らしを静かに、しかし確実に蝕む社会課題です。
気候変動や耕作放棄地の増加を背景に、野生鳥獣と人間の生活圏の境界線は、
いま急速に曖昧になっています。
かつては山奥の出来事だった鳥獣被害は、今や日本全国の多くの地域が直面する喫緊の
課題となっています。

## 被害は「量」も「質」も、深刻化の一途

### 農業被害

イノシシ：水田を掘り返し、柵を破壊して侵入

シカ：若木や果樹の樹皮を剥ぎ、2m近い柵も飛び越える

**丹精込めて育てた作物が、一夜にして失われる現実が、全国で起きています。**

### 生活環境への脅威

クマの市街地・住宅地への出没（アーバンベア）
通学路や農作業中の人身事故リスク
日常生活に広がる恐怖と不安

被害は経済的損失にとどまらず、精神的ストレスや生活の安全そのものを脅かすレベルにまで拡大しています。

サル・鳥類：高い知能を活かし、収穫直前を狙った集団被害

動物衝突による交通事故
林業被害、景観悪化
地域経済の持続性低下

### インフラ・地域経済への影響

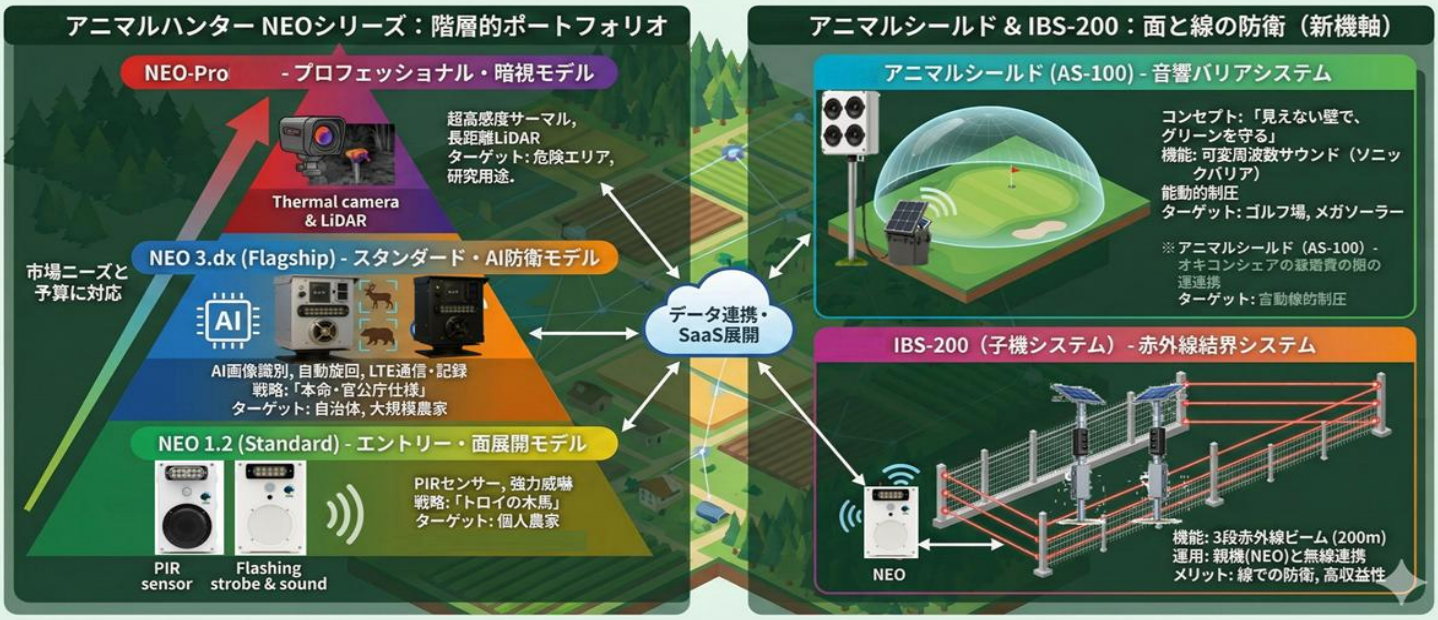
### 日本国における鳥獣被害の現状分析（The Crisis）：生活圏への浸食

### AIBOXのソリューション：「検知」と「防御」

人間と野生動物の共存のために

# 製品戦略：「アニマルハンター」エコシステムの全貌

## 2026年：役割の異なる複数デバイスによる「面的な防衛システム」




## 解決策：アニマルハンターが選ばれる3つの核心技術

**AIが「種別」を識別。**
**誤作動ゼロへ**
最新AIがクマ・イノシシ等を識別。
風で揺れる木々には反応しません。

**「慣れ」させない、**
**可変式・高出力威嚇**
125dB爆音と強力ストロボ。
AIがパターンをランダムに変化させ
学習を阻止。

**届いてすぐ使える**
**「完全独立・オールインワン」**
電源・ネット工事不要。
ソーラー+バッテリーで24時間稼働。
Wi-Fiルーター・タブレット付属。

## AIBOXの解決策：2つの柱による完全防御

弊社は、状況に応じて使い分ける２つの製品群で、この社会課題を解決します。

### 【検知・撃退型】 アニマルハンター（Animal Hunter）

コンセプト：「入らせない、近づけない」
機能：高性能センサーで対象を検知し、即座に「特殊音・光・超音波」で威嚇。

適用：住宅地境界、通学路、農地入り口、ゴルフ場グリーン周り。
携帯型展開：開発中の「スマートガーディアン」により、山林作業者やハイカーの個体防衛も実現。

### 【防御・結界型】 アニマルシールド（Animal Shield）

コンセプト：「見えない壁を作る」
機能：エリアの外周に設置し、動物が嫌がる環境（結界）を持続的に形成。
侵入意欲そのものを削ぐ。

適用：ゴルフ場全域（Golf Guard Pro）、広域農場、ソーラーパネル設置エリア。

# 私たちが目指す社会貢献（Vision）

AIBOXは単に機器を売るのではなく、以下の「未来」を提供します。

### 人命の保護

熊による悲惨な事故を未然に防ぎ、
子供や高齢者が安心して暮らせる
地域社会を取り戻す。

### 産業の守護

農家の生活の糧、ゴルフ場やリ
ゾート施設の資産価値を守り抜く。

### 自然との共存

カモシカ等の保護動物を傷つける
ことなく、棲み分けを実現する。

**AIBOX 人間と野生動物の共存のために**

# 鳥獣対策システム・アニマルハンターシリーズの核心

## 核心技術1;多層的な検知・識別システム（標準モデル）

検知 識別 威嚇 記録

BioGuard AI ANIMAL HUNTER

[検知][識別][威嚇][記録]ー防衛プロセスを自動化・最適化

24時間稼働で、誤報を抑え、動物の馴れを許しません

## 核心技術2;NEO-3、DX(高精度AI識別＋Yolo)

Yoloで対象物をリアルタイム認識

■AIｶﾒﾗ映像を解析し、動物種別を特定
（不要動作を大幅削減）

■主対象；熊／イノシシ／鹿／カモシカ他

### 機種選定の考え方：シンプルな3つのステップ

1. まず状況を把握したい
→ 標準モデル

ベーシックな見守りに最適。

2. 広い範囲を効率的に見たい
→ NEOシリーズ

広域o監視・効率化に。

3. 深刻なエリアに対応したい
→ DXシリーズ

高度な機能で深刻な問題に対応。

NEO-1シリーズはこ、デヤー覚え、「機種選定の考え方：見祖慌に、深刻な機能に捕し方」
したい、標準状況を把握したい適でした広域効率的な諺備を整理します。

### アニマルハンターが担う、4つのシンプルな役割

**1. 検知する**

赤外線センサーで熱と動きを感知。

**2. 見分ける**

AIが対象を自動で識別・判定。

**3. 知らせる**

登録者へリアルタイムで通知。

**4. 記録する**

画像・日時を保存（製品による）。

**複雑な操作は必要ありません。人が常に張り付く必要もありません。**
**現場の負担を増やさず、判断の材料だけを確実に残す。そのための仕組みです。**

## 核心技術3;製品能力向上のための オプション製品・機能の充実；検知方法(赤外線ビームセンサー）での精度向上(子機；IBM200)

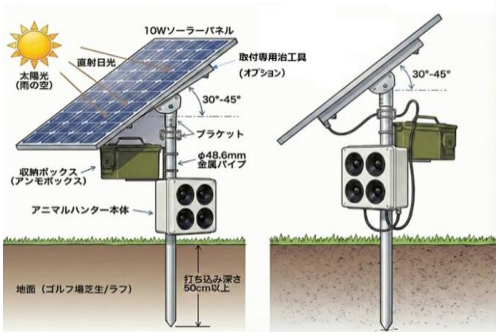
# アニマルシールド AS-100（AS-100 Universal）

**製品コンセプト**

アニマルシールド AS-100 は、「検知しない」「追いかけない」「常時防衛」という新しい思想で設計された、**民家・農地・ゴルフ場に対応する結界型鳥獣対策機器**です。従来の「検知 → 作動」方式とは異なり、**侵入される前提を作らない音響バリア**を形成することで、動物の学習（慣れ）を破壊し、長期的な侵入抑止を実現します。

## 基本仕様（Spec）

- 型式: AS-100-G-SPEC01
- 防御方式: 面制圧型 音響バリア（間欠動作）
- 有効範囲: 直線距離 最大約100m / 指向角 360度（4面配置時）
- 音圧: MAX 110dB (可変スイープ出力)
- 電源: ソーラー自立駆動 (12V System)
- バッテリー: LiFePO4 12V 6.0Ah (無日照補償: 約7日間)
- サイズ:
  ヘッドユニット: W150×D100×H70 mm
  パワーユニット: W200×D120×H113 mm
- 機能: 夜間自動運転モード、バッテリー過放電保護




### □カオス・スイープ制御(ChaosSweepTechnology)

- 周波数変調
- 持続時間変動(3～15秒)
- インターバル変動（0.1秒～60秒)
- 昼夜適応（夜間は密度アップ、昼間は省エネ）

### □モード切替（2モード＋夜間自動）

| モード | 周波数帯 | 対象動物 | 特　徴 | 推奨設置場所 |
|---|---|---|---|---|
| MODE-A | 13-30kHz | イノシシ・シカ・サル・熊 | 強力・高音圧。人にも聞こえる帯域を含む | ゴルフ場・山林・農園（大型） |
| MODE-B | 23-35kHz | ハクビシン・猫・アライグマ | 完全無音。近隣トラブルゼロ | 民家・家庭菜園・別荘地 |
| MODE-C | 自動切換 | 同上 | 夜間のみ強力モード稼働 | |

## 製品概要・特徴（Features）
## 見えない壁を作る

### 360°面制圧バリア

- 半径最大30mの全方位バリア
- カオススイープ技術で"慣れ"を防止
- 大型獣（イノシシ・シカ・サル等）にも高い忌避効果
- 夜間は自動的に攻撃密度アップ（ソーラー電圧判定

### セパレート構造で設置自由度

- ヘッド（軽量）＋電源部（高容量）を分離
- ポール設置で視認性・景観性を両立
- 地形や障害物に応じた柔軟な配置が可能
- 景観を損なわないスマートデザイン

### LiFePO4バッテリー搭載

- 高耐久・長寿命のリン酸鉄リチウム電池を採用
- 高温・低温環境でも安定稼働
- ソーラーパネル併用で電源不要・省メンテ

# 鳥獣対策システム・アニマルシリーズラインナップ

## アニマルハンター

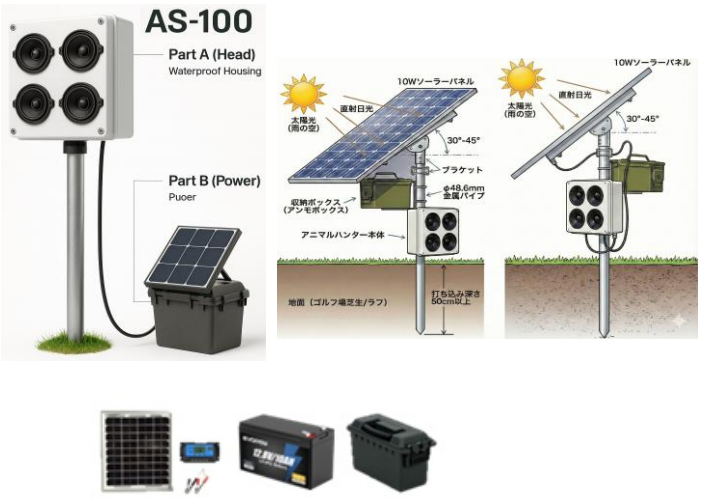
## アニマルハンターNEO1

## アニマルハンターNEO2

## アニマルハンターNEO3

## アニマルハンター用子機；IBS-200

## アニマルシールド；AS-100

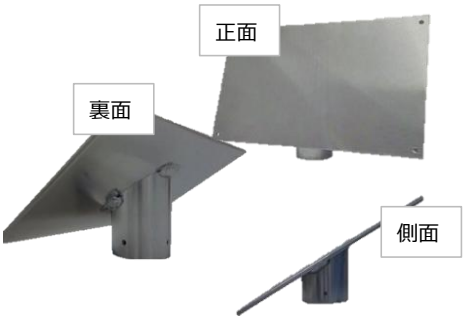


# アニマルハンター・シールド性能向上のオプション部品

| 項目 | 標準装備(10Ah/20W) | Option 1(15Ah/20W) | Option 2(15Ah/30W) | Option 3(30Ah/50W) |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| バッテリー容量 | 10Ah (128Wh) | 15Ah (192Wh) | 15Ah (192Wh) | 30Ah (384Wh) |
| 仕様 | リン酸鉄リチウムイオン BMS内蔵 | リン酸鉄リチウムイオン BMS内蔵 | リン酸鉄リチウムイオン BMS内蔵 | リン酸鉄リチウムイオン BMS内蔵 |
| ソーラーパネル | 20W | 20W | 30W | 50W |
| 3日間 無日照時の<br>最大検知回数 (回/日) | 750回(NEO1換算) | 1,400回(NEO1換算) | 1,400回(NEO1換算) | 3,400回(NEO1換算) |
| 5日間 無日照時の<br>最大検知回数 (回/日) | 200回 | 600回 | 600回 | 1,800回 |
| 7日間 無日照時の<br>最大検知回数 (回/日) | 対応不可<br>*6.5日で停止) | 260回 | 260回 | 1,100回 |
| 冬場1日の発電回復力<br>(1日で回復可能な検知数) | 約1,100回 | 約1,100回 | 約2,000回 | 約3,800回 |
| 標準価格 | オープン価格（販売店にご確認ください） | オープン価格（販売店にご確認ください） | オープン価格（販売店にご確認ください） | オープン価格（販売店にご確認ください） |

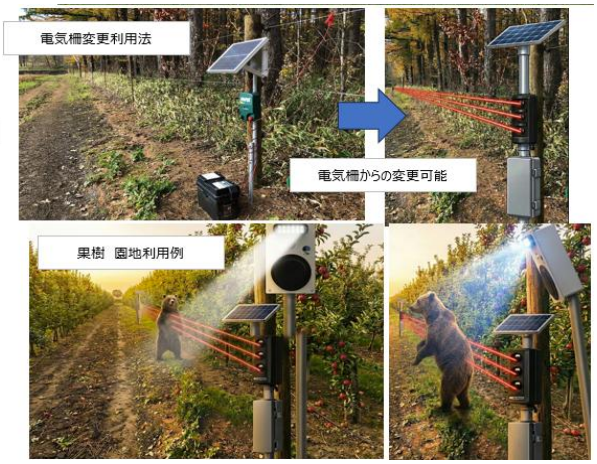
| | 【標準型】 | 【バランス型】 | 【回復力強化】 | 【ハイエンド】 |
|---|---|---|---|---|
| **特徴・推奨シーン** | 標準的な使用頻度であれば、この構成で十分に対応可能です。コンパクトで設置も容易です。 | バッテリー容量を増強し、梅雨や冬季の長雨に対する耐久性を高めた構成です。 | 30Wパネルにより、晴れ間の短い地域や冬場でも素早く満充電へ回復させます。 | 圧倒的な容量と発電力。豪雪地帯や、1日数百回の検知が続く過酷な現場向けの最強構成です。 |

【ソーラパネル用オプション部品】




【取付例】　弊社アニマルハンターNEO-1モデル取付例

# アニマルハンターNEO子機シリーズ




システム構成
**親機 (Base Unit):** NEO-シリーズ1（現行機）を流用。
PIRセンサーを無効化し、無線受信機を搭載した
「警報司令塔」。
**子機 (Sensor Tower):** 指定ケース（添付1～3）を採用した「3段ビームタワー」。
**外観:** センサーが露出しない、意匠性のあるタワー型またはボックス型。
**電源:** 18650電池×3本 ＋ 10Wソーラーパネルによる完全自立駆動（夜間限定

子機仕様
**筐体: センサーケース**
※ケース内部または表面に、3対のビームセンサーを配置。
**検知:** 3段赤外線ビーム（有効距離 ～200m(max)）。
**電源:**
メイン: リチウムイオン電池 11.1V (18650×3)。
充電: 10W ソーラーパネル（ポール上部またはケース天面に設置）。
**防水性:** ケース仕様に準ずる（IP55）。

動作仕様
**稼働時間:** 24時間・夜間のみ（CdSセンサーによる自動起動）。
**検知ロジック:** 3段ビーム（下・中・上）のいずれかが遮断された時点で、
即座に親機へ無線送信。
**威嚇:** 親機が信号を受信次第、NEO-1の最大出力（ストロボ＋爆音）で作動。
**参考）**
NEO-1　基本機械；威嚇・撃退器
NEO-2　複合機；検知動物の写真撮影、報告(LINE・MAIL)

## 予算に載せるための考え方

アニマルハンターは、さまざまな予算枠での活用が可能です。

**さまざまな予算枠での活用**

- ・補正予算
- ・防犯・安全対策関連
- ・実証事業
- ・委託業務（警備・管理）

**導入目的の再整理**

~~目的を「捕獲」に限定しない~~

- ・安全確保
- ・記録
- ・省力化

**安全確保・記録・省力化として整理することで、導入の選択肢が広がります。**

## まとめ

# 熊対策に、正解はありません。

**だからこそ、判断と記録が残る仕組みが必要です。**

**現場の負担を増やさず**

**責任を一人に集中させない**

**ための仕組みを提案します。**

**まずは、状況をお聞かせください。**

**そこから、一緒に考えます。**

AIBOX Co.,Ltd
Innovating the world, deep-tech.

**アイボックス株式会社 X-Tech 産業事業部**
本社；〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢3丁目4-4
TEL: 022-725-4533 / Email: y.sasaki@aiboxkk.co.jp
秋田工場；〒013-0041 秋田県横手市八幡字八幡81
URL: https://aiboxsendai.grupo.jp